

# 松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 413号 2021年(令和3年)1月号

今年もあと10日余で平成3年を迎えます。今年一年を振り返ってみますと、何と言ってもコロナ禍で自粛“巣ごもり”生活の一年でした。大切な友人、知人、そして遠隔地の親族などとも、これまでのような親密なお付き合いが出来ずに寂しい思いを背負ったままでした。当会の定例会、お楽しみ会も3月～8月を休会した他、9月の誕生例会も簡素に、10月の文芸作品展も中止、そして近隣郊外への小旅行なども取り止めとなりました。また 茅老連の行事も殆どが中止または延期となり、会員の皆様にはこれまでに経験のない鬱鬱とした晴れない心的状態の続いた一年であったと思われまふ。世界を見渡しても、欧米を筆頭に感染者数は日々増加、我が国も同様に感染第3波の真只中でこれまでにない勢いで蔓延中の状況です。最近、米英など2～3ヶ国で新型コロナに効能あるワクチンが開発され、春先には日本でも接種可能との朗報が聞こえてきます。今年の明るいニュースは何と云っても「はやぶさ2」の世界初の宇宙探査計画が見事成功を収めたことでしょうか。またアメリカ大統領の選挙ではバイデン氏（民主党）が勝利、再度国際協調路線を敷いて世界をリードして貰いたいものです。現時点では来年のオリンピック開催が実現出来るよう準備に前向きな様子、その時期までにはコロナ禍を一掃、元気で明るい以前の当たり前を取り戻したいものです。会員の皆様にはお健やかに良いお正月をお迎えください。

1月度定例会→1月9日(土) 10:00～11:00 自治会館集会室で行います。

新年(令和3年)初回の定例会となり、新年の互礼会も兼ねますので、大勢の方のご出席をお願いします。

出席される方は、いつもと同様にマスク着用、平熱状態が条件です。

## 1. 12月度定例会・誕生会 (12月12日 10:00～11:00 出席者 31名 会員総数 60名)

- ① 誕生会：12月誕生の方は 松田晴子さん、佐々木和子さん、町田淳子さん、山口正美さん の方々です。  
おめでとうございます。コロナ禍の懸念から合唱を避け、ピアノによるハッピーバースデーを演奏して、記念品を差し上げました。出席者の佐々木さんから「こうして出席者の皆様から祝福を受け、気持ちが高揚し幸せ一杯になり、有難い事だと思っています。これからも健康に留意して趣味を生かして、楽しく過ごしてまいります。」と返礼のご挨拶がありました。
- ② 本年最後の定例会でもあり、出席者皆さんの日頃から心に留めていられる事柄などご意見を徴しましたが、  
・コロナ禍への予防のため日々苦勞が多く、このところ心身共に疲勞を覚えること。  
・最近、当松風台内で孤独死された事案があり、先ずは戸締りの開錠など救急対応が必要。  
・クリスマスシーズンを迎え、恒例の「ハンドベル演奏」でクリスマスソングを聞きたかった。  
・今年の我が国のビッグニュースは宇宙探査機「はやぶさ2」が3億キロも離れた宇宙の彼方の惑星「りゅうぐう」から物質を地球に運ぶことに成功した世界発の快挙に感動した。などの貴重なお話が多くありました。
- ③ ミュージックタイム：合唱がコロナ感染の弊害があるため、独りピアノ演奏を静かに鑑賞しました。  
演奏曲目は「諸人こぞりて」「赤鼻のトナカイ」「聖夜」「アメージンググレイス」「アベマリア」の5曲
- ④ 1月度の定例会は現下の状況から、これまでの演芸などは中止とし、簡素な「お弁当」をお配りします。
- ⑤ 新会員入会：渡部勝則さん ( ) 大友百合子さん (大友さんの奥様) がこの度入会され、自己紹介がありました。(会員数は60名となりました)

2. 地老連連絡事項： 恒例の定例会は前月同様の休会、催事なども引き続き中止、延期の状況。

3. 1月度誕生の方： 松尾守人さん、新保洋子さん、手島歩三さん、真野郁夫さん、白井久寿夫さん、井野昭子さん、生田勝子さん の方々です。おめでとうございます。

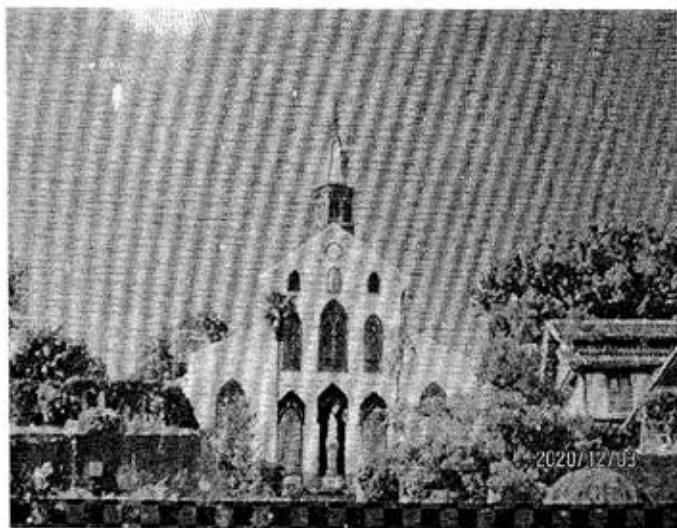
丑年によせて

今年の干支は「辛丑」です。私も七回目の年男（77歳）になりました。過去の丑年を振り返って見ますと、世界では人類初の宇宙飛行（1961）や日本ではオイルショックによる買占め騒動（1973）があり、自民党が大敗して民主党政権が誕生（2009）した年でもありました。又、私事では還暦（1997）を迎え、サラリーマン生活からサンデー毎日の生活に、その次の丑年はあまり良いことはありませんでした。2009年の年は大病（左心房粘液腫）というあまり聞きなれない病気を患い、6時間余の心臓切開という大手術を経験しました。幸い術後は良好で今日に至っております。さて、今年の丑年に我が身には何が降りかかるか？ 2020年は新型コロナウイルス・パンデミックによって世界中が多くの困難に見舞われました。今年はコロナを克服し、希望に満ちた日常が取り戻されることを祈願して止みません。（次回は友大さんをお願いします）

カラオケ好き

コロナでカラオケができず、いらいらしている人が多いと思う。私もその一人である。カラオケルームによく行ったが、他の人の歌を真剣に聞いている人は少ないように思える。自分の番が来ると朗々と歌い、悦に入っている。カラオケが始まったころは、音痴の人も堂々と歌っていた。

あまりにも調子はずれなので、かえって人気が出ていた。中には歌い始めたら、途中から元に戻ってしまい、なかなか曲が終わらない人もいた。歌っている本人は、真剣に歌っているので、聞く方は面白がって聞いていた。最近では、みな歌がうまくなり、音痴の人が少なくなってきたようである。寂しい限りである。



世界遺産一日本シリーズ：長崎 浦上天主堂



師走を彩る外来種の華麗な花「皇帝ダリヤ」背が高く紺碧の空に聳えて咲いています（真野さん提供）